

## 国に納める納付金等拠出金負担と医療費の増大

7 月 22 日に「第 145 回 ダイフク健康保険組合 組合会」が開催され、2021 年度収支決算その他が決定されましたので、概要をお知らせします。

☆

☆

☆

☆

☆

健保組合を取り巻く情勢は、2008 年度の高齢者医療制度導入以来、厳しい状況が続いており、さらに新型コロナウイルス感染状況や経済環境の変化により、報酬額や保険給付費（医療費）の伸びが大きく影響を受けています。

当年度において、全国の健保組合 1,387 組合のうち、約 10%の組合が一般保険料率を引き上げ、約 17%の組合が介護保険料率を引き上げていますが、約 70%の組合が赤字となっています。また、保険料収入に対する納付金等拠出金の割合 50%超の組合は約 13%ですが、40%超の組合は約 70%に上ります。

当健保においては、一般保険料率を前年度に引き続き 9.0%としましたが、保険料収入は若干の増加となり、支出では、新型コロナウイルス感染症対策などにより当年度も集団で行う事業やイベントなどが中止となったため、経常収支では約 1 億 48 百万円の黒字でした。しかし、高齢者医療制度による納付金等拠出金負担の割合は、保険料収入の約 50%となり、医療費負担である保険給付費（約 41%）と併せた義務的経費だけで保険料収入の約 91%を占めています。

また、介護納付金については、全面総報酬割制度の影響で、前年度の介護保険料率では介護保険料収入を上回るため、介護保険料率を 2.0%（前年度 1.8%）に引き上げるにより、介護経常収支は約 55 百万円の黒字となりました。

健保運営としては、黒字でありながら先行きの見えない厳しい状況が続きますが、目の前の対策だけにとらわれず、従業員皆さんの健康を意識し、医療費の削減につながる保健事業を展開していきます。

## &lt; 収入の状況 &gt;

被保険者数は、前年度から 75 名増の 4,490 名となり、新入社員やシニア社員制度の運用により平均標準報酬月額は、前年度から 5,935 円増の 43 万 1,339 円になりました。

経常収入は、一般保険料率を前年度同率としたが前年度から約 76 百万円増の約 29 億 63 百万円となりました。

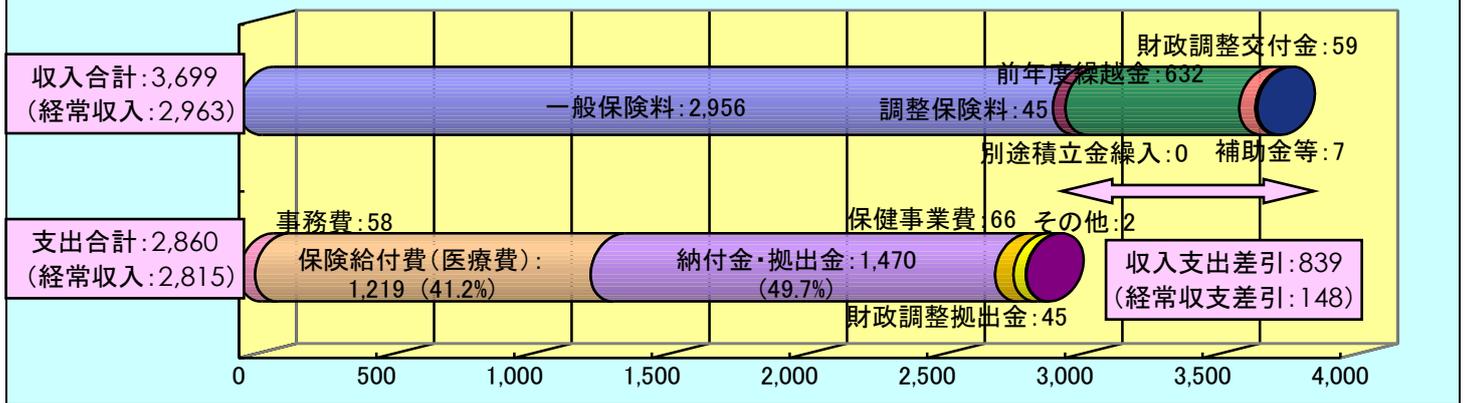
## &lt; 支出の状況 &gt;

保険給付費は、前年度から約 1 億 16 百万円増の約 12 億 19 百万円となり、納付金等拠出金は、前年度から約 1 億 76 百万円増の約 14 億 70 百万円となりました。

また、保健事業費では、前年度に引き続き集団で行う事業・イベントなどは中止、個別で行う事業やイベントなどは積極的に取り組んでおりますが、全体では前年度とほぼ同額の約 66 百万円となりました。

経常支出は、前年度から約 2 億 92 百万円増の約 28 億 15 百万円となりました。

【2022年度 収支決算の状況(一般)】 (単位:百万円)



【収支科目別決算額(一般)】 (百万円)

<収入>	2020年度	2021年度	対前年度増減
一般保険料	2,880	2,956	76
調整保険料	43	45	2
前年度繰越金	619	632	13
別途積立金繰入	0	0	0
財政調整交付金	73	59	▲14
補助金等	8	7	▲1
(収入合計)	3,623	3,699	76
経常収入額	2,887	2,963	77

\* カッコ内は一般保険料収入に占める割合

<支出>	2020年度	2021年度	対前年度増減
事務費	58 *(2.0%)	58 *(2.0%)	0
保険給付費(医療費)	1,103 *(38.3%)	1,219 *(41.2%)	116
納付金・拠出金	1,294 *(44.9%)	1,470 *(49.7%)	176
保健事業費	66 *(2.3%)	66 *(2.2%)	0
財政調整拠出金	43	45	2
その他	2	2	0
(支出合計)	2,566	2,860	294
経常支出額	2,523	2,815	292

<収支差引額>	2020年度	2021年度	対前年度増減
(収支差引)	1,057	※1 839	▲218
経常収支差引	364	148	▲215

※1 別途積立金に 1 億 67 百万円を計上し、2022 年度に 約 6 億 72 百万円を繰り越しました。

【収支科目別決算額(介護)】 (百万円)

<収入>	2020年度	2021年度	対前年度増減
介護保険料	402	455	53
その他	97	124	27
(収入合計)	499	579	80

<支出>	2020年度	2021年度	対前年度増減
介護納付金	374	400	26
その他	0	0	0
(支出合計)	374	400	26

<収支差引額>	2020年度	2021年度	対前年度増減
(収支差引)	125	※2 179	54
保険料-納付金差引	28	55	27

※2 法定準備金に 373 万円を計上し、2022 年度に 約 1 億 75 百万円を繰り越しました。

※健保の保健事業の詳細については、「ダイフク健保ホームページ」(下記アドレス)より、「健康づくりのための事業」項目をご覧ください。  
<http://www.daifuku-kenpo.or.jp/index.html>